

7. 昔の地域を知る、昔の伝統行事を知る、昔の生活を知る

グループ名 沼辺笑楽寿来

代表者 渡辺 安光

① 活動の目的

・子どもたちの顔を知るよりも、自分たちの顔を知ってもらうことが目的。地域に暮らしている自分たちから子どもたちへ、情報提供・昔の伝承・自分たちが子どもの時に住んでいた地域・学校を伝えることが自分たちにできるボランティア。「つながりのかたち」は様々ですが、点と点の地域ではなく線で結べる地域になる資源づくりが、ボランティアと地域とつながることと思います。「子どもたちのたくさんの笑顔・地域住民のたくさんの笑顔」を共有できることが、「見守り活動」につながっています。

② 活動概要

・沼辺福祉教育運営委員会：年7回開催

地域の代表者（行政区長・民生委員・ボランティア・老人クラブ会員・自分の孫がいる方・学校・社協）

・協働教育（福祉教育）：学校支援

中学校<農業体験活動支援> 小学校1年生<さつまいも栽培・もちつき体験・昔の遊び体験> 2年生<七夕を祝う会・じゃがいも栽培・昔の遊び体験> 3年生<昔の道具と生活に関するお話> 4年生<世代間交流> 5年生<米づくり> 6年生<戦争のお話> あすなる学級<柏餅づくり> 沼辺幼稚園<じゃがいも栽培・七夕かざり・だんごさし>

・地域づくり：地域住民同士のつながりが「見守り・支え合い活動」につながる

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	90,000円	
支出	・世代間交流事業	だんごさし、もち食材費	22,763円
		かしわ餅食材費	14,708円
		七夕を祝う会飾り材料費	6,210円
	・農業体験事業	田んぼ、畑支援（肥料代）	8,912円
		（苗、肥料、除草剤、借用代）	13,050円
		鎌、縄、バイダー代	16,513円
	脱穀機械借用代	25,000円	
	合計	107,156円	

沼辺笑楽寿来写真一覧表

